

PRESS RELEASE



報道関係者各位

株式会社 SOYOKAZE

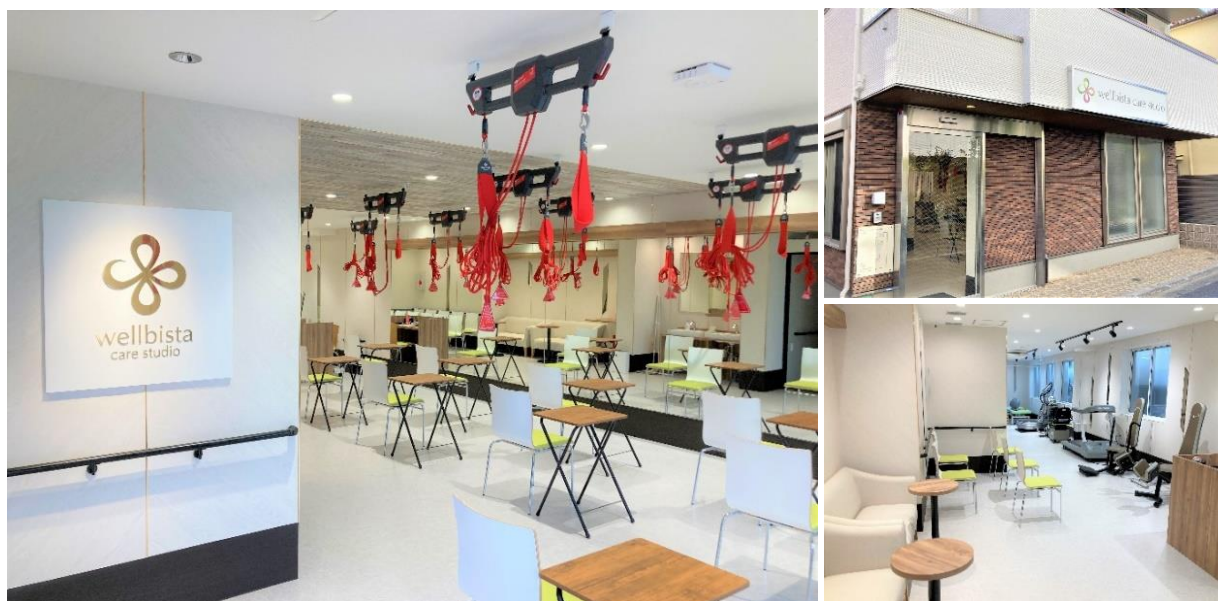
2023年4月6日

都内5店舗目、介護保険サービスと保険外リハビリを同時一体的に 提供する施設「ウェルビスタ ケアスタジオ 駒場」4月3日オープン

～2019年に誕生した両サービスを組み合わせて提供する東京都内唯一^{(*)1}の施設ブランド、
リハビリに励み社会復帰をしたいと望むすべての方の課題解決を目指す～

株式会社 SOYOKAZE(旧:株式会社ユニマツ リタイアメント・コミュニティ、本社:東京都港区、代表取締役社長:中川 清彦、以下「当社」)は、2023年4月3日、東京都目黒区に介護保険サービスと保険外個別リハビリサービスを同時一体的に提供する「ウェルビスタ ケアスタジオ 駒場(以下「当施設」)」をオープンしました。

・「ウェルビスタ ケアスタジオ」公式ホームページ:<https://wellbista-cs.com/>



「ウェルビスタ ケアスタジオ 駒場」(左)スタジオ内観1、(右上)外観、(右下)スタジオ内観2

「ウェルビスタ ケアスタジオ」は、リハビリを必要とする方に向けた、機能訓練型デイサービス(介護保険サービス)に加え、個別課題により深く向き合うための保険外個別リハビリサービスを同時一体的に提供するリハビリスタジオです。2019年の開設以来、介護保険サービスと保険外サービスを組み合わせて提供する施設は東京都内では他にはなく唯一^{(*)1}の施設ブランドです。

コンセプトは「必要なときに必要なリハビリを、なりたい姿をかたちにする“WELL-BEING AGAIN”」。お客様の身体的・精神的・社会的に良好な状態を意味する“well-being”^{(*)2}を目指します。

(*)1 当社調べ

(*)2 well-being(ウェルビーイング)とは、1946年WHO憲章で示された幸福の概念で「心身ともに、さらに社会的にも健康な状態を目指し、満足した生活を送れる状態にあること」をいいます

■「ウェルビスタ ケアスタジオ 駒場」の概要

当施設は、京王井の頭線「駒場東大前」駅から徒歩 4 分の閑静な住宅街に位置します。スタジオ面積は 2022 年に開設した上北沢店に次ぐ広さの 84.7 平米で、天井にはリハビリの先進国ノルウェー生まれの自重を使って効果的に機能訓練ができるレッドコード 12 基を設置。またお客様一人ひとりの症状と目標にあわせパーソナルに対応すべく、最先端の機器を揃えパーソナルなサービスを提供します。



「ウェルビスタ ケアスタジオ 駒場」
パワープレートを使用した個別リハビリ(イメージ)

<施設情報>

- ・施設名称: **ウェルビスタ ケアスタジオ 駒場** (英語表記: wellbista care studio komaba)
- ・所在地: 東京都目黒区駒場 1-39-18
- ・類型: 機能訓練型デイサービス(介護保険サービス)、保険外個別リハビリサービス
- ・定員: 各部 24 名
- ・サービス提供時間: 【介護保険サービス】午前の部 9:00~12:15、午後の部 1:30~4:45 / 土日休み、
【保険外個別リハビリサービス】午前の部 10:00~12:00、午後の部 3:00~5:00
- ・利用条件: 【介護保険サービス】事業対象者、要支援 1・2、要介護 1~5 認定者
【保険外個別リハビリサービス】脳血管疾患、脊髄損傷、パーキンソン病、
整形外科疾患などの後遺症でお悩みの方 など
- ・保険外個別リハビリサービス料金: 1 回 60 分 9,240 円、120 分 18,480 円 ※料金はすべて消費税込み

■「ウェルビスタ ケアスタジオ」開設の背景と目的

厚生労働省の「2019 年 国民生活基礎調査の概況」によると、『介護が必要になった主な原因』の第 2 位に脳血管疾患(脳卒中)があげられています。このような状況にありながら脳血管疾患を患った場合、リハビリによる機能改善は個人差が大きいにも関わらず、入院中の保険適応期間と退院後の外来リハビリを受けられる時間には上限が設けられています。そのためリハビリが十分でなくとも退院をせざるを得ない場合や、自宅に戻った後はリハビリを続けたくても十分な量と質を保てないなどの状況に陥ってしまう可能性があります。

脳血管疾患を一例にあげたように、リハビリを経て社会復帰をしたくても、十分な量と質のリハビリが受けられないという状況を、当社では社会における差し迫った課題と捉え、保険内のみのサービスでは限界があることから、保険外個別リハビリサービスを同時一体的に提供する施設を開設しました。

リハビリに励み、社会復帰をしたいと望むすべての方の課題解決を目指すために、「本当に理想的なりハビリスタジオとは何か」を考え誕生したのが「ウェルビスタ ケアスタジオ」です。

■今後の予定

2023 年夏頃に、東京都板橋区内に 6 号店の出店を予定しています。また、2025 年までに新たに 10 店舗の開設を目指します。「ウェルビスタ ケアスタジオ」を通じて、より多くの方々のリハビリへの前向きな姿勢を応援するために、身体的自由を取り戻すサポートはもちろん、精神的・社会的にも良好な状態を実現する支援を行ってまいります。

<本件に関する報道関係の皆さまからのお問合せ先>

株式会社 SOYOKAZE (旧:ユニマツト リタイアメント・コミュニティ)

総務部 広報 メールアドレス: press@sykz.co.jp

「ウェルビスタ ケアスタジオ」について

「ウェルビスタ ケアスタジオ」は、リハビリを必要とする方に向けた、介護保険サービスに加え、個別課題により深く向き合うための保険外個別リハビリサービスを同時一体的に提供するリハビリスタジオです。

近年、増加する脳血管疾患(脳梗塞・脳出血・くも膜下出血)のほか、パーキンソン病や整形外科的疾患など、リハビリに励む方々の目標達成のために一人ひとりに寄り添ったプログラムを設計します。介護保険サービス(デイサービス)だけでは実現が難しかった個々のニーズに、保険外個別リハビリサービスと就労支援(*)を組み合わせ、パーソナルなサービスを提供します。

(*)紹介先の雇用関係の成立をお約束するものではありません。当面は当社への就労支援となります。



保険外個別リハビリサービス(一例)

<介護保険サービス>

基礎体力向上と維持を目指す機能訓練型デイサービスです。主にグループでリハビリ基礎体力向上と生活動作能力の向上を目指します。サービスを通し生活動作(買い物・トイレ・入浴など)に必要な筋力の維持、バランス感覚を鍛え、円滑な動作維持ができるようなトレーニングを行います。またさらにリハビリの専門家を中心として職員が連携して一人ひとりの状況にあわせた個別機能訓練を実施します。

<保険外個別リハビリサービス>

経験豊富なリハビリ専門家がお客様のニーズと身体評価、生活評価などを考慮して、目標達成のための個別リハビリプログラムを設計します。例えば、身体機能維持向上や趣味活動、社会復帰など個別のニーズに特化したプログラムを提供します。動きの見える化や測定を随時行い、状況にあわせてプログラムの定期的な見直しを行い無理なく続けることが可能です。

<店舗>

- 【1号店】ウェルビスタ ケアスタジオ 中野新橋 (2019年6月開設)
- 【2号店】ウェルビスタ ケアスタジオ 上北沢 (2022年1月開設)
- 【3号店】ウェルビスタ ケアスタジオ 成城 (2022年5月開設)
- 【4号店】ウェルビスタ ケアスタジオ 練馬北町 (2023年1月開設)
- 【5号店】ウェルビスタ ケアスタジオ 駒場 (2023年4月開設)



・ネーミングに込めた想い: wellbista = well-being + vista (健やかな展望がある)

・ロゴに込めた想い : well-being cycle(ウェルビーイングをつかさどるサイクル)

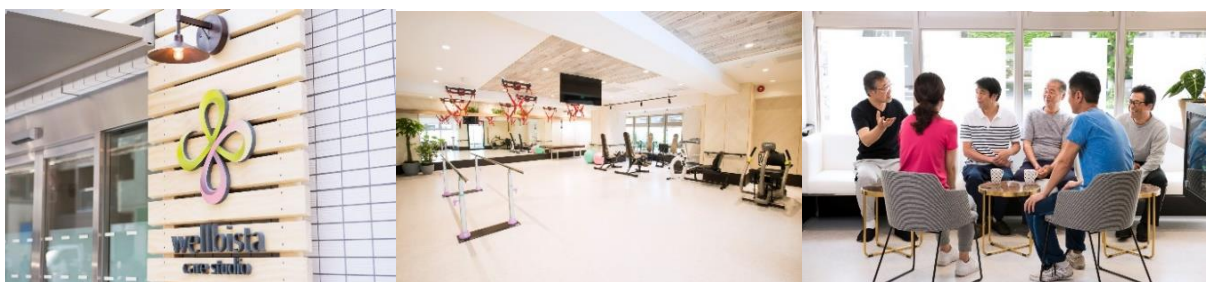
こころ、からだ、つながりが満たされ、幸福感のある健やかな状態が維持していること。

「環」が巡り健やかなサイクルを生み出そうとする瞬間を表現しています。

■リハビリに取り組む環境として重要なスタジオ内装にもこだわる

前向きな気持ちでリハビリに取り組んでいただくために施設環境は重要なポイントとなります。そのため、ブランドロゴやスタジオ内装にも徹底的にこだわりました。入り口は会員制フィットネスのような洗練されたロゴやデザインで、スタジオ内には壁面大型ミラーと天井から吊り下げたレッドコード(自重で効果的な運動療法を行う機器)が印象的な、明るく清潔感ある空間を演出しています。

さらに、スタジオの一角に壁や仕切りなどのないカフェスペースをご用意しており、お客様同士の輪が自然とつづられています。一般的にリハビリは孤独なもので、ときに不安に駆られることもありますが、悩みや不安を共有することでモチベーションを保つことができます。仲間同士、励ましあいながらリハビリに取り組んでいけるスタジオ環境です。



「ウェルビスタ ケアスタジオ」左: 外観一例、中: スタジオ一例、右: カフェスペース一例

■機能回復に特化、同時一体的に提供することで生まれる相乗効果

介護保険サービスと保険外個別リハビリサービスを同時一体的にサービス提供することで生まれる相乗効果は、より早い機能回復と社会復帰が期待できます。

例えば、介護保険サービスだけでは充足が難しいニーズに個別対応ができるのはもちろん、保険外個別リハビリサービスのみでは生まれない仲間とのコミュニケーションによる精神的な効果を得ることができます。またさらに、別の日に介護保険サービスで基礎体力を向上させていくことで、保険外個別リハビリサービスで行ったトレーニングとのダブル効果を得ることができます。



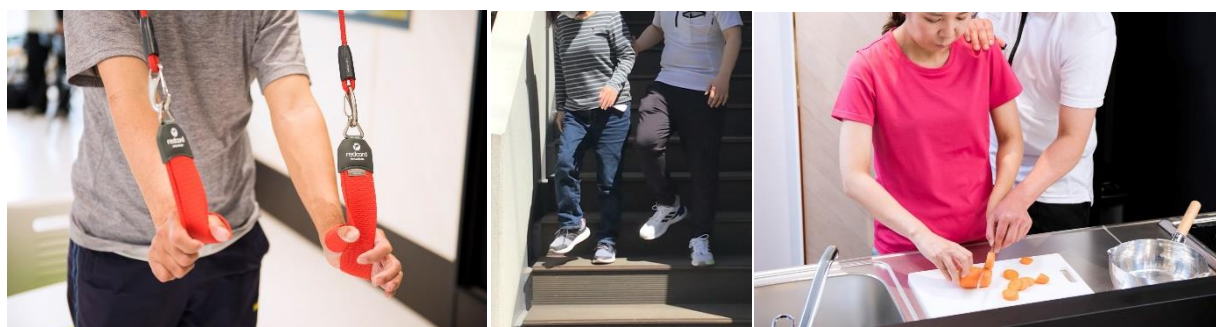
レッドコードをした機能訓練(介護保険サービスイメージ)

■「ウェルビスタ ケアスタジオ」利用のお客様の声

既存の4店舗では、お客様それぞれの目標を実現されています。

「身支度がスムーズになり、復職へのモチベーションがあがった」「杖を使わなくなった。体力の回復を感じる」「一人じゃない」、そう感じることでできる同じ悩みを抱えた方々との時間は充実したもの。また来て続けたい」などのうれしい声がたくさん届いています。(詳細は「参考資料2」に記載)

「ウェルビスタ ケアスタジオ」1号店(中野新橋)お客様の声(一例)



■介護保険サービス(機能訓練型デイサービス)

身体機能面	精神面
<ul style="list-style-type: none"> ・片麻痺があって手を動かしたい思いから週 2 回通っている。今では腕の振りも出てきて物を押さえたり、手指も動かして使えるようになった ・膝の痛みが確実によくなっている。踏ん張るのがまだ辛いスタッフが励ましてくれるのでこれからもがんばりたい ・ウェルビスタの口腔体操はとても効果があり話しやすくなった。これも長生きできる秘訣かな ・階段や車の乗降がスムーズになり片足で身体を持ち上げられるようになった ・転倒してもケガをしなくなった。これも休まずにウェルビスタで運動しているおかげだと思う 	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェルビスタに通うことが、外に出ようと、休まずに通うようにしようという目標になり気持ちの面で前向きになれた ・スタッフや他の方が楽しそうにしているのを見ているだけで楽しい気分になれる ・スタッフが明るく親切で開放的な空間なのでデイサービスのイメージが変わった。こんな所があるなら、もっと早く来ればよかった ・当初は外出もできず、会話をしたり、人と接するのが苦手な精神安定剤を服用していたが、ウェルビスタに通ううちに積極的になり明るい表情が増えたとし、楽しい

■保険外個別リハビリサービス

<ケース 1> / 55 歳(女性) / 利用頻度:週 1 回(60 分×8 回)

疾患名(発症からの期間)	症状	本人の希望
くも膜下出血(2 年)	半身まひ・高次脳機能障害	もう一度働きたい
<p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・左側の注意不足や物忘れが軽減 ・着替えが楽になった ・身支度がスムーズになり、復職へのモチベーションがあがった <p>身体は元気そうに見られますが、左側の認識が乏しく、歩くと左側をぶつかけたり、着替えで左右がわからなくなったりと日常の生活動作がうまくできず、復職の課題となっていました。リハビリをはじめて 1 週間で生活の変化に気づき、日常生活が楽になり自信ができました。</p> <p>後遺症に対しての生活の工夫を教えていただき日常生活が楽になり自信ができました。</p>		

<ケース 2>/ 50 歳(女性) / 利用頻度:週 1 回 (120 分×8 回)

疾患名(発症からの期間)	症状	本人の希望
脳出血(2年)	右の片麻痺	家族や友人と外食や買い物を楽しみたい
<p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩く恐怖感が薄れ、リハビリが「楽しみ」に変わった ・右足裏の間隔がつき、右腰の力がついた ・バランス力がついて歩幅が広がった <p>足裏の感覚がなかったため、わずかな傾斜や段差にも恐怖を感じ、外出時は車いすに介助が必要でした。今では恐怖心を克服し、自分の足で自宅から出歩くことができるようになりました。家族や友人と食事を楽しむことを次の目標として、外でのリハビリプランを計画してもらっています。目的や希望にあわせてリハビリプランを随時、細かく変更ができるところが気に入っています。</p>		

<ケース 3>/ 50 歳(男性) / 利用頻度:週 2 回 (120 分×8 回)

疾患名(発症からの期間)	症状	本人の希望
脳梗塞(2年)	右の片麻痺	趣味を楽しみたい
<p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・腕が振り上げられるようになった ・筋力・体力が向上した ・外出が楽しくなった <p>自分の足に見切りをつけ、一度は趣味のゴルフもあきらめようとしたのですが、あきらめきれずにお試してリハビリを開始。パーソナルトレーナーのようにサポートしてもらうことでよくなることを実感したので、最低限の身体の改善以上ではなく、最大限に「ゴルフを楽しめること」を目標にしました。一か月のリハビリでゴルフのフォームもきれいになりました。またリハビリを通じて緩やかな足の動きができるようになったことで、車を不安なく運転できるようになり、乗り降りもスムーズにできるようになりました。今後もさらに生きがいを取り戻していきたいです。</p>		

<ケース 4>/ 50 歳(女性) / 利用頻度:週 2 回 (120 分×8 回)

疾患名(発症からの期間)	症状	本人の希望
脳出血(2年)	右の片麻痺	通勤の恐怖心を克服したい
<p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・足をあげるのが楽になった ・歩行速度があがった ・ストレスなく会社に通えるようになった <p>右半身の麻痺が残り、外出は家族のサポートが必要など日常生活に支障が出ていました。さらに通勤となると一段とハードルが高く、横断歩道を青信号のうちに渡ることができず、電車の降車なども恐怖でしかありませんでした。</p> <p>リハビリでは積極的に外に出て、歩行訓練だけにとどまらず恐怖心の克服にも取り組みました。今では歩くスピードも速くなり、横断歩道も青信号のうちに渡りきれようになりました。かかりつけ医も、その回復ぶりに驚いてくれています。</p>		